

クロマツ探検隊Ⅰ

5月11日（木）山形県酒田市宮海の西荒瀬保育園に隣接する庄内海岸林（新林国有林）で、クロマツ探検隊Ⅰを年長組園児22名、保育士4名、当センター3名、計29名で実施しました。

当日は朝まで雨が残りイベントの開催も心配されましたが、出発時には雨が上がり予定どおり行われました。

クロマツ探検隊Ⅰの内容は、「クロマツ林探検」、「野鳥の観察」、「宝物探し」、「万華鏡で見よう」を行いました。出発時に探検隊のルールを説明した後、全員で「エイ！エイ！オー！」と大きな声をあげ出発。

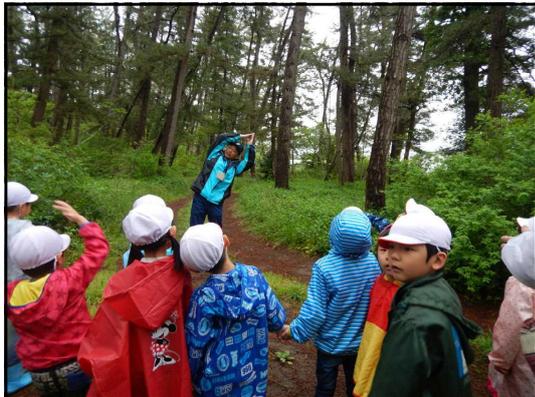
クロマツ林探検では、クロマツの年齢の見方、昔は砂地であった場所にクロマツの苗を植え育てた経過やクロマツの役割、花の説明や名前の由来、危険な植物（ツタウルシ）、マツクイ虫被害、森の中では元気が出る（フィトンチッド）、クロマツが斜めに立っている理由等を行いました。野鳥の観察では、各園児が双眼鏡を使って野鳥（アオサギ等）観察や高倍率の望遠鏡を使ってアオサギがクロマツで抱卵している様子を確認しました。

宝物探しでは、森の中の宝物（草花）を摘み取って、保育園に戻ってから万華鏡に思い思いに花びら等を入れて楽しみました。

最後の振り返りでは、森の中で元気がでる原因を確認し、次回の「みどりの保育園」で再会することを約束し終了しました。

そのときの様子（抜粋）は写真でご覧下さい。

◇ クロマツ探検（斜めになったクロマツ）



◇ 危険な植物（ツタウルシ）



◇ 野鳥の観察（アオサギ）



◇ 万華鏡づくり



